2000 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日の期間中に
京都大学医学部附属病院に入院あるいは外来受診した患者さんへ

2019 年 6 月 25 日
京都大学大学院薬学研究科・生体機能解析学分野

京都大学大学院薬学研究科・生体機能解析学分野では、医薬品によって生じる有害な副作用（以下、有害事象）の分子メカニズムを解明し、有害事象を予防・低減するための具体的方策を見出すことを目的として、京大病院の診療科と協力し臨床研究の一環として皆様の診察時に得られる臨床検査値や医薬品の処方歴を含めた電子カルテ情報を特に医薬品の併用例に注目して統計学的に解析する研究を行っています。

この研究は疫学研究に関する国内の関連法規に従って行うものであり、また京都大学医学研究科・医学部附属病院、医の倫理委委員会の承認を受けたものです。研究を行うにあたっては、個人情報の取扱いには細心の注意を払い、研究以外の目的でこれらの情報を用いることはありません。また、得られた結果は個人が特定できない形でのみ学会や論文等の学術目的で公開する予定です。

これらの研究成果を通じて、ひとりでも多くの患者さんがより良い薬物治療を受けられることが期待できると考えておりますので、どうぞご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究課題名：電子カルテシステムを活用した薬物有害事象に対する薬物間相互作用の解析
研究対象：2017 年 3 月 7 日～2020 年 12 月 31 日の期間中に京都大学医学部附属病院に入院あるいは外来受診した患者さんの電子カルテ

研究計画や研究手法など詳しい情報をお知りになりたい方は、下記責任者までお問い合わせください（他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます）。また、ご協力いただけない場合には、結果公開前であればいつでも対応いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。

研究責任者・連絡先：京都大学大学院薬学研究科・生体機能解析学分野
教授　金子 周司（電話 075-753-4541）

京都大学医学部附属病院・相談支援センター（電話 075-751-4748）